

下記の方は、マンモグラフィーによる健診を受けることが出来ませんので、ご注意ください。

マンモグラフィー検診 禁忌の方	詳細
<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊胸手術を受けている方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圧迫により、内容物が破裂するおそれがあります。</li> <li>・内容物が障害となり、乳房全体を写し出すことができず、読影不能となります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペースメーカー・V-Pシャント</li> <li>・CVポート(薬液注入器具)などの医療機器が前胸部に入っている方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圧迫により、医療機器が破損するおそれがあります。</li> <li>・コードやチューブなどの位置がずれ、不測の事態が起こる可能性があります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠中の方</li> <li>・妊娠の可能性のある方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンモグラフィーは、X線検査のため、ごくわずかですが放射線被ばくがあります。</li> <li>・妊娠中または、妊娠の可能性のある方に関しては、胎児への影響を考慮しなければなりませんので、不急のX線検査は避ける必要があります。</li> <li>・妊娠の可能性がないときに受けていただくか、もしくは、超音波検査などのX線を使用しない検査を、医療機関にて受診することをお勧めします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授乳中の方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授乳中の乳房は、母乳を作り出すために乳腺が発達した状態になっています。</li> <li>・マンモグラフィーでは、乳房全体が白く写ってしまうため、腫瘍やしこりがその白さに隠れてしまい、正確な判定が困難になります。</li> <li>・母乳が大量に出ってしまうと、適正な圧迫ができず、放射線の被ばく量も増えてしまいます。</li> </ul>

◆上記該当の方は、超音波検査などを組み合わせて乳房全体を診断する、乳腺外来の受診をお勧めします。

◆当院では乳腺外来を設けておりません。また乳腺超音波検査も実施しておりません。